

資格取得の手引き – 教員免許状 –

社会科学部に所属する学生が取得できる教員免許状は、**中学校 1 種：社会、高等学校 1 種：地理歴史・公民・商業・情報**の計 5 種類です。教員免許状を取得するためには、本学部を卒業し「学士（社会科学）」を取得することに加えて、所定の最低修得単位数を満たす必要があります。

この手引きでは最低必要単位数のみ掲載していますので、教職支援センター発行の「**2024 年度 教職課程履修の手引き**」にて、詳細の履修ルールや必要科目等を必ず確認してください。また、各科目の開講学期・曜日時限については社会科学部 Web サイトに掲載している「**学科目配当表**」から確認してください。

なお、教育職員免許法及び同法施行規則が改正され、2019 年 4 月 1 日より施行されています（平成 28 年改正法）。また、2022 年 4 月 1 日より「**情報通信技術を活用した教育の理論及び方法**」に関する事項の新設等が施行されました（令和 3 年（2021 年）省令改正）。これにより**入学年度によって適用法令が異なります**ので、自身の適用法令を確認し、次ページ以降該当する内容をご確認ください。

【参考】平成 28 年改正法はこれまでに下表の省令改正が行われています。詳細は「教職課程履修の手引き」を参照してください。

法令の名称	改正内容
平成 28 年改正法	・ICT 事項科目の追加
令和 3 年省令改正（2021）	・第 66 条の 6 に定める科目における「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」の追加
平成 28 年改正法	・高等学校教諭免許状「総合的な学習の時間の指導法」の名称が「総合的な探究の時間の指導法」に変更
令和 4 年省令改正（2022）	・特別支援学校教諭免許状コアカリキュラムの策定
平成 28 年改正法	・一部の免許教科（本学で該当するのは中学校「理科」、高等学校「理科」「情報」のみ）について、「教科に関する専門的事項」の科目区分の統合や削除、科目区分名称の変更を実施
令和 6 年省令改正（2024）	

「令和 3 年（2021 年）省令改正」に伴う教職課程カリキュラムの一部変更について

・変更点 1：必修科目の新設

2022 年 4 月 1 日より ICT（情報通信技術）を活用した教育に関する科目（「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の科目）が教育免許状取得希望者に義務付けられます。

当学では以下のとおり開講されます。2022 年度以降入学者は履修必須です。

科目名	単位数
「教育における ICT 活用（中・高）」	1 単位

※2021 年度以前入学者を対象とした経過措置として、科目を設置する大学や履修年度に関わらず、「教育方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」の要件を満たす授業科目を履修していれば、「教育における ICT 活用（中・高）」の履修は不要です。当学を卒業した方が在学中に下表の科目の単位を修得済みの場合は、「教育における ICT 活用（中・高）」は履修不要となります。

科目名	備考
教育方法・技術論（中・高）	2019 年度～
教育方法研究（中・高）	～2018 年度
教育方法学	教育学部教育学科教育学専攻教育学専修設置科目

・変更点 2：教員免許状施行規則第 66 条の 6 に定める科目の対象科目追加

平成 28 年（2016 年）改正法において、「情報機器の操作」の項目名が「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に変更され、2022 年 4 月 1 日より「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2 単位が 66 条の 6 に定める科目として利用可能となりました。

・変更点3：旧課程適用者の注意事項について

旧課程（2018年度以前入学）適用の場合は、以下の対応表をご参考にしていただき、履修ルール・時間割等の確認を行ってください。

・新旧課程の表記対応表

旧課程	新課程
教職に関する科目	・教育の基礎的理解に関する科目等 ・各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）
教科に関する科目	教科に関する専門的事項
教科又は教職に関する科目	大学が独自に設定する科目

「令和6年（2024年）省令改正」に伴う教職課程カリキュラムの一部変更について

高等学校「情報」について、下表のとおり「教科に関する専門的事項」の科目区分の統合や削除、科目区分名称の変更を実施しています。2023年度以前入学者への経過措置についてはP.9をご確認ください。

・高等学校「情報」科目区分の変更内容

改正前（～2023）	改正後（2024～）
情報社会・情報倫理	情報社会（情報に関する内容を含む。）・情報倫理
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	コンピュータ・情報処理
情報システム（実習を含む。）	情報システム
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	情報通信ネットワーク
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	マルチメディア表現・マルチメディア技術
情報と職業	

免許状の申請について

3月卒業と同時に免許状所要資格を得る者については大学で一括して東京都教育委員会に免許状を申請し、卒業式当日に手渡しています。一括申請手続きについては、卒業年度の5月頃に発表されます。

1-1. 新課程適用者（2022年度以降入学者／2019-2021年度入学者）

◆免許状取得 単位修得要件

免許状の種類	中学校教諭 1 種免許状	高等学校教諭 1 種免許状
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目		
日本国憲法	2	2
体育（実技）	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	2
	合計 8 単位	合計 8 単位
教科及び教職に関する科目		
①教科及び教科の指導法に関する科目	①28	①24
教科に関する専門的事項	※ ⁽¹⁾	※ ⁽¹⁾
「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の最低修得単位数	8	4
②「教育の基礎的理解に関する科目」等	②28(2022～) ②27(2019-2021)	②24(2022～) ②23(2019-2021)
③「大学が独自に設定する科目」	③ 2	③ 0
	①②③の合計 59 単位※⁽²⁾	①②③の合計 59 単位※⁽²⁾

※(1) 「教科に関する専門的事項」は法令上の最低修得単位数は定めていません。ただし、「教科に関する専門的事項」ならびに「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」との合算で、①の単位数（中学校 28 単位、高等学校 24 単位）を修得する必要があります。

※(2) 「教科及び教職に関する科目」において、①②③それぞれの科目の最低修得単位数だけでは、総単位数 59 単位を満たすことができません。任意の科目において最低修得単位数以上の単位を修得し、**①②③の総単位数を必ず 59 単位以上**にしてください。

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

◇日本国憲法

本学部設置の「憲法 I」で充当できます。

◇体育（実技）

グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習」を合計で **2 単位以上** 取得することで充当できます。

◇外国語コミュニケーション

本学部必修科目の英語科目で充当できます。該当科目は以下のとおりです。

入学年度	該当科目
2023 年度以前入学者	「英語 1 - 2」または「英語 2 - 2」
2024 年度以降入学者	「Tutorial English」、 「Academic Writing and Discussion in English」 または「英語 1 - 2(※)」 ※必修英語の再履修科目として単位修得した者のみ

◇数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

①・②のいずれかから2単位以上修得することで充当できます。ただし、①・②から1単位ずつの組み合わせは認められません。

①数理、データ活用及び人工知能に関する科目（2022年度以降の履修科目のみ適用）

2022年4月1日より、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位が66条の6に定める科目として利用可能となりました（2022年度以降に開講となった該当科目を履修した場合に修得単位が有効となります）。

そのため、2022年度以降入学者については本学部必修科目の「統計リテラシーα」および「統計リテラシーβ」で2単位分を充当できます。

設置箇所	該当科目
GEC	統計リテラシーα、統計リテラシーβ、データ科学入門α、データ科学入門β、Statistics Literacy α、Statistics Literacy β、Introduction to Data Science α、Introduction to Data Science β（各1単位）

②情報機器の操作

設置箇所	該当科目
社会科学部	社会科学のための基礎コンピュータ、情報システム、マルチメディア、金融データ解析1・2、情報科学論
GEC	プログラミング入門、プログラミング初級（C/C++）、プログラミング初級（Java）、プログラミング初級（Python）、プログラミング中級（Java）、プログラミング中級（C/C++）、プログラミング中級（Python）、アルゴリズムとデータ構造α、アルゴリズムとデータ構造β、ソフトウェア開発技術α、ソフトウェア開発技術β、情報セキュリティ技術、Web デザイン実践、プログラミング中級（Visual basic）、サーバサイド Web プログラム初級・中級、クライアントサイド Web プログラミング初級・中級、データベース（SQL 入門）、データベース（管理と運用）、マルチメディア初級・中級（画像処理とアニメーション）α・β、ミュージック・プログラミング、CG エンジニア入門

教科及び教職に関する科目

◇教科及び教科の指導法に関する科目

「教科に関する専門的事項」および「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の総称となります。

- **教科に関する専門的事項**
社会科学部設置科目で履修することになります。免許状の教科によって履修科目および方法が異なりますので、詳細は次頁以降を参照してください。
- **各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）**
教職課程科目として教育学部に設置されている科目を履修してください。詳細は「教職課程履修の手引き」（教育学部発行）を参照してください。

◇「教育の基礎的理解に関する科目」等

教職課程科目として教育学部に設置されている科目を履修してください。詳細は「教職課程履修の手引き」（教育学部発行）を参照してください。

◇大学が独自に設定する科目

中学校免許の取得を希望する場合は、「介護等体験実習講義」の履修が必須となります。

それ以外にも「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」の最低修得単位数を超えて修得した単位がここに加算されます。

「大学が独自に設定する科目」として教育学部に設置されている科目を履修することも可能です。詳細は「教職課程履修の手引き」（教育学部発行）を参照してください。

教科に関する専門的事項（中学校 1 種・社会）

【新課程（2019-2021、2022 年度以降入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
日本史・ 外国史	全て必修	日本史概論1	2	外国史概論1	2				
		日本史概論2	2	外国史概論2	2				
	選択	比較経済史1	2	歴史学(ヨーロッパ史)1	2	Social History 1	2		
		比較経済史2	2	歴史学(ヨーロッパ史)2	2	Social History 2	2		
		政治学史 I	2	歴史学(日中間係史)1	2	ソシオダイナミクス1	2		
		政治学史 II	2	歴史学(日中間係史)2	2	ソシオダイナミクス2	2		
		歴史学(日本史)1	2	歴史学(アジア史)1	2	商業史 I	2		
		歴史学(日本史)2	2	歴史学(アジア史)2	2	商業史 II	2		
		歴史学概論	2	日本環境文化史 1	2				
		日本政治史 I	2	日本環境文化史 2	2				
日本政治史 II	2	史料学(絵画史料論)	2						
地理学(地 誌を含む。)	必修 (注1)	人文地理学	2	自然地理学 I	2	地理 I ※	2		
				自然地理学 II	2	地理 II ※	2		
	1科目必修	地誌	2	地誌 I ※	2				
	選択	地理Ⅲ ※	2	地誌 II ※	2				
「法律学、 政治学」	必修 (注2)	法学入門	2	政治学原論 I	2	政治学入門	2		
				政治学原論 II	2				
	選択	政治分析の基礎	2	現代政治制度論(イタリア)	2	国際法1	2		
		国際関係論入門	2	現代政治制度論(ドイツ)	2	国際法2	2		
		国際政治理論	2	現代政治制度論(イギリス)	2	民法法	2		
		情報政治論	2	現代政治制度論(フランス)	2	生命倫理と法1[生命の始期に関わる諸問題]	2		
		政策科学1[政策過程の諸モデル]	2	現代政治制度論(スペイン)	2	生命倫理と法2[生命の終期に関わる諸問題]	2		
		政策科学2[日本の政策過程]	2	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2	知的財産権法(著作権法)	2		
		EU地域研究 I	2	現代政治分析(イタリア)	2	知的財産権法(特許法、商標法、不正競争防止法)	2		
		EU地域研究 II	2	現代政治分析(ドイツ)	2	環境法1[公害規制法]	2		
		政治分析	2	現代政治分析(イギリス)	2	環境法2[自然保護法]	2		
		比較政治学	2	現代政治分析(スペイン)	2	国際経済法1	2		
		国会論	2	現代政治分析(アメリカ合衆国)	2	国際経済法2	2		
		比較議会論	2	太平洋地域海洋国家研究	2	刑事政策	2		
		立法過程論	2	憲法 I	2	比較政治制度論1	2		
		地域自治論1	2	憲法 II	2	比較政治制度論2	2		
		地域自治論2	2	民法1[総則]	2	現代市民権理論	2		
		選挙制度論	2	民法2[物権]	2	ヨーロッパ市民社会論1	2		
		国際NGO協力論	2	民法3[債権総論]	2	ヨーロッパ市民社会論2	2		
		国際開発制度論	2	民法4[債権各論]	2	現代選挙論1	2		
		政治過程論1	2	民法5[親族]	2	現代選挙論2	2		
		政治過程論2	2	民法6[相続]	2	雇用関係法 I	2		
		国際関係論	2	刑法総論 I [犯罪論の基本構造]	2	雇用関係法 II	2		
		行政学 I	2	刑法総論 II [犯罪の諸形態]	2	現代雇用社会の法と政策	2		
		行政学 II	2	刑法各論1[個人、社会、国家に対する罪]	2	労使関係法	2		
		平和学 I	2	刑法各論2[財産に対する罪]	2	人間の安全保障論	2		
		平和学 II	2	国際人権論1	2	社会保障の法と政策1	2		
		平和構築論	2	国際人権論2	2	社会保障の法と政策2	2		
		政治行動論 I	2						
		政治行動論 II	2						
		「社会学、 経済学」	必修 (注2)	社会学入門	2	マクロ経済学	4	経済学入門1[ミクロ経済学]	2
				社会学原論 1	2	ミクロ経済学 I	2	経済学入門2[マクロ経済学]	2
			社会学原論 2	2					
選択	社会科学の基礎		2	社会統計の読み方	2	国際金融論	2		
	社会調査の基礎		2	経済数学1	2	実証経済学	2		
	ゲーム理論の基礎		2	経済数学2	2	経済動学 I	2		
	社会科学方法論		2	ミクロ経済学 II	2	経済動学 II	2		
	比較近代社会思想1		2	応用マクロ経済学	2	公共経済論 I	2		
	比較近代社会思想2		2	応用ミクロ経済学1	2	公共経済論 II	2		
	近代経済社会思想史1		2	応用ミクロ経済学2	2	日本研究1	2		
	近代経済社会思想史2		2	社会科学のための回帰分析 1[回帰分析の基礎、クロスセクションデータの分析]	2	日本研究2	2		
	ジェンダー論 I		2	社会科学のための回帰分析 2[時系列データ、パネルデータの分析]	2	社会学の思想と理論	2		
	ジェンダー論 II		2	応用計量経済学 [計量経済学の進んだトピック]	2	法と経済学 I	2		
	労働問題1		2	産業構造論	2	法と経済学 II	2		
	労働問題2		2	環境の産業連関分析	2	現代社会学の方法	2		
	ポピュラー・カルチャーの社会科学		2	食料と農業の経済学1[食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題]	2	環境社会学1	2		
	社会意識論		2	食料と農業の経済学2[日本の経験と教訓]	2	環境社会学2	2		
	知識社会学		2	制度設計の経済学 I	2				
	社会調査法1		2	制度設計の経済学 II	2				
	社会調査法2		2	金融経済論	2				
	「哲学、 倫理学、 宗教学」		必修 (注4)	倫理学1	2	哲学総論	2		
		倫理学2	2						
選択		西洋哲学	2	東洋哲学2	2	中国哲学2	2		
		東洋哲学1	2	中国哲学1	2	応用倫理学	2		

※教育学部設置科目

(注1)「地理学」は、①～②の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 人文地理学と自然地理学 I・II を選択する場合は、3科目とも履修。
- ② 地理 I・II を選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「社会学、経済学」は①～④の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 社会学原論を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ④ マクロ経済学とミクロ経済学 I を選択する場合は、2科目とも履修。

(注2)「法律学、政治学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 法学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ③ 政治学原論 I・II を選択する場合は、2科目とも履修。

(注4)「哲学、倫理学、宗教学」は①～②の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。

教科に関する専門的事項（高等学校 1 種・地理歴史）

【新課程（2019-2021、2022 年度以降入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数
日本史	全て必修	日本史概論 1	2	日本史概論 2	2
	選択	ソシオダイナミクス 1	2	歴史学(日本史) 1	2
		日本政治史 I	2	歴史学(日本史) 2	2
		日本政治史 II	2	史料学(絵画史料論)	2
		歴史学(日中関係史) 1	2	日本環境文化史 1	2
		歴史学(日中関係史) 2	2	日本環境文化史 2	2
		歴史学概論	2		
外国史	全て必修	外国史概論 1	2	外国史概論 2	2
	選択	商業史 I	2	比較経済史 1	2
		商業史 II	2	比較経済史 2	2
		歴史学(アジア史) 1	2	政治学史 I	2
		歴史学(アジア史) 2	2	政治学史 II	2
		Social History 1	2	歴史学(ヨーロッパ史) 1	2
		Social History 2	2	歴史学(ヨーロッパ史) 2	2
		ソシオダイナミクス 2	2		
人文地理学・ 自然地理学	必修 (注1)	人文地理学	2	地理 I ※	2
		自然地理学 I	2	地理 II ※	2
		自然地理学 II	2	地理 III ※	2
地誌	必修 (注2)	地誌	2	地誌 I ※	2
				地誌 II ※	2

※教育学部設置科目

(注1)「人文地理学・自然地理学」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

- ① 人文地理学と自然地理学 I・II を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。
- ② 地理 I・地理 II・地理 III を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。

(注2)「地誌」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

- ① 地誌を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 地誌 I と地誌 II を選択する場合は、両方とも履修しなければなりません。

教科に関する専門的事項（高等学校 1 種・公民）

【新課程（2019-2021、2022 年度以降入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
法律学(国 際法を含 む)、 政治学(国 際政治を含 む)	必修 (注1)	法学入門	2	政治学原論Ⅰ	2	政治学入門	2
				政治学原論Ⅱ	2		
	選択	政治分析の基礎	2	現代政治制度論(イタリア)	2	国際法1	2
		国際関係論入門	2	現代政治制度論(ドイツ)	2	国際法2	2
		国際政治理論	2	現代政治制度論(イギリス)	2	医事法	2
		情報政治論	2	現代政治制度論(フランス)	2	生命倫理と法1〔生命の始期に関わる諸問題〕	2
		政策科学1〔政策過程の諸モデル〕	2	現代政治制度論(スペイン)	2	生命倫理と法2〔生命の終期に関わる諸問題〕	2
		政策科学2〔日本の政策過程〕	2	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2	知的財産権法(著作権法)	2
		EU地域研究Ⅰ	2	現代政治分析(イタリア)	2	知的財産権法(特許法、商標法、不正競争防止法)	2
		EU地域研究Ⅱ	2	現代政治分析(ドイツ)	2	環境法1〔公害規制法〕	2
		政治分析	2	現代政治分析(イギリス)	2	環境法2〔自然保護法〕	2
		比較政治学	2	現代政治分析(スペイン)	2	国際経済法1	2
		国会論	2	現代政治分析(アメリカ合衆国)	2	国際経済法2	2
		比較議会論	2	太平洋地域海洋国家研究	2	刑事政策	2
		立法過程論	2	憲法Ⅰ	2	比較政治制度論1	2
		地域自治論1	2	憲法Ⅱ	2	比較政治制度論2	2
		地域自治論2	2	民法1〔総則〕	2	現代市民権理論	2
		選挙制度論	2	民法2〔物権〕	2	ヨーロッパ市民社会論1	2
		国際NGO協力論	2	民法3〔債権総論〕	2	ヨーロッパ市民社会論2	2
		国際開発制度論	2	民法4〔債権各論〕	2	現代選挙論1	2
		政治過程論1	2	民法5〔親族〕	2	現代選挙論2	2
		政治過程論2	2	民法6〔相続〕	2	雇用関係法Ⅰ	2
		国際関係論	2	刑法総論Ⅰ〔犯罪論の基本構造〕	2	雇用関係法Ⅱ	2
		行政学Ⅰ	2	刑法総論Ⅱ〔犯罪の諸形態〕	2	現代雇用社会の法と政策	2
		行政学Ⅱ	2	刑法各論1〔個人、社会、国家に対する罪〕	2	労使関係法	2
		平和学Ⅰ	2	刑法各論2〔財産に対する罪〕	2	人間の安全保障論	2
		平和学Ⅱ	2	国際人権論1	2	社会保障の法と政策1	2
		平和構築論	2	国際人権論2	2	社会保障の法と政策2	2
		政治行動論Ⅰ	2				
		政治行動論Ⅱ	2				
	社会学、経 済学 (国際経済 を含む)	必修 (注2)	社会学入門	2	マクロ経済学	4	経済学入門1〔ミクロ経済学〕
社会学原論 1			2	ミクロ経済学Ⅰ	2	経済学入門2〔マクロ経済学〕	2
社会学原論 2			2				
選択		社会科学の基礎	2	社会統計の読み方	2	国際金融論	2
		社会調査の基礎	2	経済数学1	2	実証経済学	2
		ゲーム理論の基礎	2	経済数学2	2	経済動学Ⅰ	2
		社会科学方法論	2	ミクロ経済学Ⅱ	2	経済動学Ⅱ	2
		比較近代社会思想1	2	応用マクロ経済学	2	公共経済論Ⅰ	2
		比較近代社会思想2	2	応用ミクロ経済学1	2	公共経済論Ⅱ	2
		近代経済社会思想史1	2	応用ミクロ経済学2	2	日本研究1	2
		近代経済社会思想史2	2	社会科学のための回帰分析 1〔回帰分析の基礎、クロスセクションデータの分析〕	2	日本研究2	2
		ジェンダー論Ⅰ	2	社会科学のための回帰分析 2〔時系列データ、パネルデータの分析〕	2	社会学の思想と理論	2
		ジェンダー論Ⅱ	2	応用計量経済学〔計量経済学の進んだトピック〕	2	法と経済学Ⅰ	2
		労働問題1	2	産業構造論	2	法と経済学Ⅱ	2
		労働問題2	2	環境の産業連関分析	2	現代社会学の方法	2
		ポピュラー・カルチャーの社会科学	2	食料と農業の経済学1〔食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題〕	2	環境社会学1	2
		社会意識論	2	食料と農業の経済学2〔日本の経験と教訓〕	2	環境社会学2	2
		知識社会学	2	制度設計の経済学Ⅰ	2		
		社会調査法1	2	制度設計の経済学Ⅱ	2		
		社会調査法2	2	金融経済論	2		
哲学、倫理学、宗 教学、心理 学	必修 (注3)	倫理学1	2	哲学総論	2	心理学概論	2
		倫理学2	2				
	選択	西洋哲学	2	中国哲学1	2	臨床心理学	2
		東洋哲学1	2	中国哲学2	2	社会心理学	2
		東洋哲学2	2	応用倫理学	2		

(注1)「法律学、政治学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 法学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ③ 政治学原論Ⅰ・Ⅱを選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「哲学、倫理学、宗教学、心理学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 心理学概論を選択する場合は、1科目履修で可。

(注2)「社会学、経済学」は①～④の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 社会学原論を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ④ マクロ経済学とミクロ経済学Ⅰを選択する場合は、2科目とも履修。

教科に関する専門的事項（高等学校 1 種・商業）

【新課程（2019-2021、2022 年度以降入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	配当 年次	単位数	科目名	配当 年次	単位数
職業指導	全て必修	職業指導 1	3年～	2			
		職業指導 2	3年～	2			
商業の 関係科目	選択	グローバル・サプライチェーン・マネジメント	2年～	4	流通論 I	3年～	2
		ビジネス・イングリッシュ I	2年～	2	流通論 II	3年～	2
		ビジネス・イングリッシュ II	2年～	2	生産システム論	3年～	2
		マーケティング入門	1年～	2	産業組織論	3年～	4
		リスクマネジメントと保険 I	3年～	2	管理会計	3年～	4
		リスクマネジメントと保険 II	3年～	2	簿記	1年～	4
		人的資源管理論 I	3年～	2	経営のための経済学	1年～	4
		人的資源管理論 II	3年～	2	経営学	2年～	4
		企業財務論	3年～	4	経営学入門	1年～	2
		会社法 1[会社のガバナンス]	1年～	2	経営科学 1	2年～	4
		会社法 2[会社のファイナンス]	1年～	2	経営科学 2	3年～	4
		会社法 3[組織再編・M&A]	3年～	2	経営管理論	3年～	4
		会計学	2年～	4	経営組織論	3年～	4
		会計学入門	1年～	2	証券論	2年～	4
		会計監査論	3年～	4	金融商品取引法 1[総論・流通市場規制等]	3年～	2
		原価計算	3年～	4	金融商品取引法 2[発行市場規制・業者規制等]	3年～	2
		国際貿易論 1	2年～	2	外部報告会計論	3年～	4
		国際貿易論 2	2年～	2	経営分析	2年～	2
		組織イノベーション 1	2年～	2	ビジネスのためのデータサイエンス	2年～	4
組織イノベーション 2	2年～	2					

教科に関する専門的事項（高等学校 1 種・情報）

【新課程（2019-2021、2022 年度以降入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	配当 年次	単位数	科目名	配当 年次	単位数
情報社会(職業に 関する内容を含む)・ 情報倫理	全て必修	法情報学	3年～	2	情報化社会とワーキングスタイル	1年～	2
	選択	データ倫理	3年～	1			
コンピュータ・ 情報処理	必修	社会科学のための基礎コンピュータ	1年～	4			
	選択	地理情報システム論 I	1年～	2	プログラミング入門 ※ ¹	1年～	1
		地理情報システム論 II	1年～	2	RIによる統計解析 ※ ¹	1年～	1
		金融データ解析 1	3年～	2	サーバサイドWebプログラミング初級 ※ ¹	1年～	2
		金融データ解析 2	3年～	2	クライアントサイドWebプログラミング初級 ※ ¹	1年～	2
		Webデザイン実践 ※ ¹	1年～	2			
情報科学の基礎 ※ ¹	1年～	2					
情報システム	必修	情報システム	3年～	2			
	選択	情報科学論	1年～	4			
情報通信ネットワーク	全て必修	ネットワーク技術初級 ※ ¹	1年～	2	ネットワーク技術準中級 ※ ¹	1年～	2
	選択						
マルチメディア表現・ マルチメディア技術	必修	マルチメディア	3年～	2			
	選択	メディア論 1	1年～	2	メディア論 3	1年～	2
		メディア論 2	1年～	2	メディア論 4	1年～	2

※¹ グローバルエデュケーションセンター設置科目

※ 平成28年改正法 令和6年省令改正により、文科省科目分類が上表のとおりとなりました。2023年度以前入学者を対象とした経過措置として、改正前の「情報社会・情報倫理」及び「情報と職業」の両方を修得した者（または卒業までに修得する者）については、改正後の「情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理」を修得したものとみなします。

法令改正前の各科目分類における必修科目

・情報社会・情報倫理 … 「法情報学」

・情報と職業 … 「情報化社会とワーキングスタイル」 または 「ITとビジネス」 から1科目必修

※ 「情報科社会とワーキングスタイル」「社会科学のための基礎コンピュータ」「情報システム」「マルチメディア」は情報免許の必修科目となっていることから、「情報」免許を希望する4年生以上の学生を優先的に登録します（要申請）。希望する場合は、科目1次登録期間の前に、社会科学部事務所までご相談ください。

1-2. 旧課程適用者（2018年度以前入学者）

◆免許状取得 最低修得単位数

免許状の種類	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		
日本国憲法	2	2
体育（実技）	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
情報機器の操作	2	2
	合計8単位	合計8単位
「教科に関する科目」の最低修得単位数	①20	①20
「教職に関する科目」の最低修得単位数※(1)	②31単位（特別活動論（中・高） 2019年度以降履修者） または ②32単位（特別活動論（中・高） 2018年度以前履修者）	②25単位（特別活動論（中・高） 2019年度以降履修者） または ②26単位（特別活動論（中・高） 2018年度以前履修者）
「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数	③2	③0
	①②③の合計59単位※(2)	①②③の合計59単位※(2)

※(1) 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※(2) それぞれの科目の最低修得単位数だけでは、総単位数59単位を満たすことができません。任意の科目において最低修得単位数以上の単位を修得し、①②③の総単位数を必ず59単位以上にする必要があります。

◇**日本国憲法** 本学部設置の「**憲法 I**」で充当できます。

◇**体育（実技）** グローバルエデュケーションセンター設置の「**スポーツ実習**」を合計で**2単位以上**取得することで充当されます。

◇**外国語コミュニケーション** 本学部必修科目の「**英語 1 - 2**」または「**英語 2 - 2**」で充当できます。

◇**情報機器の操作**

設置箇所	該当科目
社会科学部	社会科学のための基礎コンピュータ、情報システム、マルチメディア、金融データ解析 1・2、情報科学論
GEC	プログラミング入門、プログラミング初級（C/C++）、プログラミング初級（Java）、プログラミング初級（Python）、プログラミング中級（Java）、プログラミング中級（C/C++）、プログラミング中級（Python）、アルゴリズムとデータ構造α、アルゴリズムとデータ構造β、ソフトウェア開発技術α、ソフトウェア開発技術β、情報セキュリティ技術、Web デザイン実践、プログラミング中級（Visual basic）、サーバサイド Web プログラム初級・中級、クライアントサイド Web プログラミング初級・中級、データベース（SQL 入門）、データベース（管理と運用）、マルチメディア初級・中級（画像処理とアニメーション）α・β、ミュージック・プログラミング、CG エンジニア入門

◇**教科に関する科目**

取得する免許状の教科によって履修方法が異なります。詳細は次頁以降を参照してください。

◇**教職に関する科目**

教職課程科目として教育学部に設置されている科目を履修してください。詳細は「教職課程履修の手引き」（教育学部発行）を参照してください。

◇**教科又は教職に関する科目**

「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位が加算されます。もしくは、教職課程科目として教育学部に設置されている科目を履修してください。詳細は「教職課程履修の手引き」（教育学部発行）を参照してください。

教科に関する科目（中学校 1種・社会）【旧課程（2018年度以前入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
日本史 及び 外国史	全て必修	日本史概論1	2	外国史概論1	2				
		日本史概論2	2	外国史概論2	2				
	選択	比較経済史1	2	歴史学(ヨーロッパ史)1	2	Social History 1	2		
		比較経済史2	2	歴史学(ヨーロッパ史)2	2	Social History 2	2		
		政治学史 I	2	歴史学(日中間係史)1	2	ソシオダイナミクス1	2		
		政治学史 II	2	歴史学(日中間係史)2	2	ソシオダイナミクス2	2		
		歴史学(日本史)1	2	歴史学(アジア史)1	2	商業史 I	2		
		歴史学(日本史)2	2	歴史学(アジア史)2	2	商業史 II	2		
		歴史学概論	2	日本環境文化史 1	2				
		日本政治史 I	2	日本環境文化史 2	2				
		日本政治史 II	2	史料学(絵画史料論)	2				
地理学 (地誌含む)	必修 (注1)	人文地理学	2	自然地理学 I	2	地理 I ※	2		
				自然地理学 II	2	地理 II ※	2		
	1科目必修	地誌	2	地誌 I ※	2				
	選択	地理 III ※	2	地誌 II ※	2				
法律学 政治学	必修 (注2)	法学入門	2	政治学原論 I	2	政治学入門	2		
				政治学原論 II	2				
	選択	政治分析の基礎	2	現代政治制度論(イタリア)	2	国際法1	2		
		国際関係論入門	2	現代政治制度論(ドイツ)	2	国際法2	2		
		国際政治理論	2	現代政治制度論(イギリス)	2	医事法	2		
		情報政治論	2	現代政治制度論(フランス)	2	生命倫理と法1[生命の初期に関わる諸問題]	2		
		政策科学1[政策過程の諸モデル]	2	現代政治制度論(スペイン)	2	生命倫理と法2[生命の終期に関わる諸問題]	2		
		政策科学2[日本の政策過程]	2	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2	知的財産権法(著作権法)	2		
		EU地域研究 I	2	現代政治分析(イタリア)	2	知的財産権法(特許法、商標法、不正競争防止法)	2		
		EU地域研究 II	2	現代政治分析(ドイツ)	2	環境法1[公害規制法]	2		
		政治分析	2	現代政治分析(イギリス)	2	環境法2[自然保護法]	2		
		比較政治学	2	現代政治分析(スペイン)	2	国際経済法1	2		
		国会論	2	現代政治分析(アメリカ合衆国)	2	国際経済法2	2		
		比較議会論	2	太平洋地域海洋国家研究	2	刑事政策	2		
		立法過程論	2	憲法 I	2	比較政治制度論1	2		
		地域自治論1	2	憲法 II	2	比較政治制度論2	2		
		地域自治論2	2	民法1[総則]	2	現代市民権理論	2		
		選挙制度論	2	民法2[物権]	2	ヨーロッパ市民社会論1	2		
		国際NGO協力論	2	民法3[債権総論]	2	ヨーロッパ市民社会論2	2		
		国際開発制度論	2	民法4[債権各論]	2	現代選挙論1	2		
		政治過程論1	2	民法5[親族]	2	現代選挙論2	2		
		政治過程論2	2	民法6[相続]	2	雇用関係法 I	2		
		国際関係論	2	刑法総論 I [犯罪論の基本構造]	2	雇用関係法 II	2		
		行政学 I	2	刑法総論 II [犯罪の諸形態]	2	現代雇用社会の法と政策	2		
		行政学 II	2	刑法各論1[個人、社会、国家に対する罪]	2	労使関係法	2		
		平和学 I	2	刑法各論2[財産に対する罪]	2	人間の安全保障論	2		
		平和学 II	2	国際人権論1	2	社会保障の法と政策1	2		
		平和構築論	2	国際人権論2	2	社会保障の法と政策2	2		
		政治行動論 I	2						
		政治行動論 II	2						
		社会学 経済学	必修 (注2)	社会学入門	2	マクロ経済学	4	経済学入門1[ミクロ経済学]	2
				社会学原論 1	2	ミクロ経済学 I	2	経済学入門2[マクロ経済学]	2
				社会学原論 2	2				
選択	社会科学の基礎		2	社会統計の読み方	2	国際金融論	2		
	社会調査の基礎		2	経済数学1	2	実証経済学	2		
	ゲーム理論の基礎		2	経済数学2	2	経済動学 I	2		
	社会科学方法論		2	ミクロ経済学 II	2	経済動学 II	2		
	比較近代社会思想1		2	応用マクロ経済学	2	公共経済論 I	2		
	比較近代社会思想2		2	応用ミクロ経済学1	2	公共経済論 II	2		
	近代経済社会思想史1		2	応用ミクロ経済学2	2	日本研究1	2		
	近代経済社会思想史2		2	社会科学のための回帰分析 1[回帰分析の基礎、クロスセクションデータの分析]	2	日本研究2	2		
	ジェンダー論 I		2	社会科学のための回帰分析 2[時系列データ、パネルデータの分析]	2	社会学の思想と理論	2		
	ジェンダー論 II		2	応用計量経済学 [計量経済学の進んだトピック]	2	法と経済学 I	2		
	労働問題1		2	産業構造論	2	法と経済学 II	2		
	労働問題2		2	環境の産業連関分析	2	現代社会学の方法	2		
	ポピュラー・カルチャーの社会科学		2	食料と農業の経済学1[食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題]	2	環境社会学1	2		
	社会意識論		2	食料と農業の経済学2[日本の経験と教訓]	2	環境社会学2	2		
	知識社会学		2	制度設計の経済学 I	2				
	社会調査法1		2	制度設計の経済学 II	2				
	社会調査法2		2	金融経済論	2				
	倫理学1		2	哲学総論	2				
倫理学2	2								
哲学 倫理学 宗教学	必修 (注4)								
	選択	西洋哲学	2	東洋哲学2	2	中国哲学2	2		
		東洋哲学1	2	中国哲学1	2	応用倫理学	2		

※教育学部設置科目

(注1)「地理学」は、①～②の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 人文地理学と自然地理学 I・II を選択する場合は、3科目とも履修。
- ② 地理 I・II を選択する場合は、2科目とも履修。

(注2)「法律学、政治学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 法学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ③ 政治学原論 I・II を選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「社会学、経済学」は①～④の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 社会学原論を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ④ マクロ経済学とミクロ経済学 I を選択する場合は、2科目とも履修。

(注4)「哲学、倫理学、宗教学」は①～②の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。

教科に関する科目（高等学校 1 種・地理歴史）【旧課程（2018 年度以前入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数
日本史	全て必修	日本史概論 1	2	日本史概論 2	2
	選択	ソシオダイナミクス 1	2	歴史学(日本史) 1	2
		日本政治史 I	2	歴史学(日本史) 2	2
		日本政治史 II	2	史料学(絵画史料論)	2
		歴史学(日中関係史) 1	2	日本環境文化史 1	2
		歴史学(日中関係史) 2	2	日本環境文化史 2	2
		歴史学概論	2		
外国史	全て必修	外国史概論 1	2	外国史概論 2	2
	選択	商業史 I	2	比較経済史 1	2
		商業史 II	2	比較経済史 2	2
		歴史学(アジア史) 1	2	政治学史 I	2
		歴史学(アジア史) 2	2	政治学史 II	2
		Social History 1	2	歴史学(ヨーロッパ史) 1	2
		Social History 2	2	歴史学(ヨーロッパ史) 2	2
		ソシオダイナミクス 2	2		
人文地理学 及び 自然地理学	必修 (注1)	人文地理学	2	地理 I ※	2
		自然地理学 I	2	地理 II ※	2
		自然地理学 II	2	地理 III ※	2
地誌	必修 (注2)	地誌	2	地誌 I ※	2
				地誌 II ※	2

※教育学部設置科目

(注1)「人文地理学及び自然地理学」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

- ① 人文地理学と自然地理学 I・II を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。
- ② 地理 I・地理 II・地理 III を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。

(注2)「地誌」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

- ① 地誌を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 地誌 I と地誌 II を選択する場合は、両方とも履修しなければなりません。

教科に関する科目（高等学校 1 種・公民）【旧課程（2018 年度以前入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
法律学 (国際法を 含む) 政治学 (国際政治 を含む)	必修 (注1)	法学入門	2	政治学原論Ⅰ	2	政治学入門	2	
	選択			政治学原論Ⅱ	2			
		政治分析の基礎	2	現代政治制度論(イタリア)	2	国際法1	2	
		国際関係論入門	2	現代政治制度論(ドイツ)	2	国際法2	2	
		国際政治理論	2	現代政治制度論(イギリス)	2	医事法	2	
		情報政治論	2	現代政治制度論(フランス)	2	生命倫理と法1[生命の始期に関わる諸問題]	2	
		政策科学1[政策過程の諸モデル]	2	現代政治制度論(スペイン)	2	生命倫理と法2[生命の終期に関わる諸問題]	2	
		政策科学2[日本の政策過程]	2	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2	知的財産権法(著作権法)	2	
		EU地域研究Ⅰ	2	現代政治分析(イタリア)	2	知的財産権法(特許法、商標法、不正競争防止法)	2	
		EU地域研究Ⅱ	2	現代政治分析(ドイツ)	2	環境法1[公害規制法]	2	
		政治分析	2	現代政治分析(イギリス)	2	環境法2[自然保護法]	2	
		比較政治学	2	現代政治分析(スペイン)	2	国際経済法1	2	
		国会論	2	現代政治分析(アメリカ合衆国)	2	国際経済法2	2	
		比較議会論	2	太平洋地域海洋国家研究	2	刑事政策	2	
		立法過程論	2	憲法Ⅰ	2	比較政治制度論1	2	
		地域自治論1	2	憲法Ⅱ	2	比較政治制度論2	2	
		地域自治論2	2	民法1[総則]	2	現代市民権理論	2	
		選挙制度論	2	民法2[物権]	2	ヨーロッパ市民社会論1	2	
		国際NGO協力論	2	民法3[債権総論]	2	ヨーロッパ市民社会論2	2	
		国際開発制度論	2	民法4[債権各論]	2	現代選挙論1	2	
		政治過程論1	2	民法5[親族]	2	現代選挙論2	2	
		政治過程論2	2	民法6[相続]	2	雇用関係法Ⅰ	2	
		国際関係論	2	刑法総論Ⅰ[犯罪論の基本構造]	2	雇用関係法Ⅱ	2	
		行政学Ⅰ	2	刑法総論Ⅱ[犯罪の諸形態]	2	現代雇用法の法と政策	2	
		行政学Ⅱ	2	刑法各論1[個人、社会、国家に対する罪]	2	労使関係法	2	
		平和学Ⅰ	2	刑法各論2[財産に対する罪]	2	人間の安全保障論	2	
		平和学Ⅱ	2	国際人権論1	2	社会保障の法と政策1	2	
		平和構築論	2	国際人権論2	2	社会保障の法と政策2	2	
		政治行動論Ⅰ	2					
		政治行動論Ⅱ	2					
社会学 経済学 (国際経済 を含む)	必修 (注2)	社会学入門	2	マクロ経済学	4	経済学入門1[ミクロ経済学]	2	
		社会学原論 1	2	ミクロ経済学Ⅰ	2	経済学入門2[マクロ経済学]	2	
	選択		社会学原論 2	2				
		社会科学の基礎	2	社会統計の読み方	2	国際金融論	2	
		社会調査の基礎	2	経済数学1	2	実証経済学	2	
		ゲーム理論の基礎	2	経済数学2	2	経済動学Ⅰ	2	
		社会科学方法論	2	ミクロ経済学Ⅱ	2	経済動学Ⅱ	2	
		比較近代社会思想1	2	応用マクロ経済学	2	公共経済論Ⅰ	2	
		比較近代社会思想2	2	応用ミクロ経済学1	2	公共経済論Ⅱ	2	
		近代経済社会思想史1	2	応用ミクロ経済学2	2	日本研究1	2	
		近代経済社会思想史2	2	社会科学のための回帰分析 1[回帰分析の基礎、クロスセクションデータの分析]	2	日本研究2	2	
		ジェンダー論Ⅰ	2	社会科学のための回帰分析 2[時系列データ、パネルデータの分析]	2	社会学の思想と理論	2	
		ジェンダー論Ⅱ	2	応用計量経済学 [計量経済学の進んだトピック]	2	法と経済学Ⅰ	2	
		労働問題1	2	産業構造論	2	法と経済学Ⅱ	2	
		労働問題2	2	環境の産業連関分析	2	現代社会学の方法	2	
		ポピュラー・カルチャーの社会科学	2	食料と農業の経済学1[食料需給の決定要因と食料問題・農業調整問題]	2	環境社会学1	2	
		社会意識論	2	食料と農業の経済学2[日本の経験と教訓]	2	環境社会学2	2	
		知識社会学	2	制度設計の経済学Ⅰ	2			
		社会調査法1	2	制度設計の経済学Ⅱ	2			
		社会調査法2	2	金融経済論	2			
哲学 倫理学 宗教学 心理学	必修 (注3)	倫理学1	2	哲学総論	2	心理学概論	2	
		倫理学2	2					
	選択	西洋哲学	2	中国哲学1	2	臨床心理学	2	
		東洋哲学1	2	中国哲学2	2	社会心理学	2	
		東洋哲学2	2	応用倫理学	2			

(注1)「法律学、政治学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 法学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ③ 政治学原論Ⅰ・Ⅱを選択する場合は、2科目とも履修。

(注2)「社会学、経済学」は①～④の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 社会学原論を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ④ マクロ経済学とミクロ経済学Ⅰを選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「哲学、倫理学、宗教学、心理学」は①～③の履修方法のいずれかを選択必修。

- ① 哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。
- ② 倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。
- ③ 心理学概論を選択する場合は、1科目履修で可。

教科に関する科目（高等学校 1 種・商業）【旧課程（2018 年度以前入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	配当 年次	単位数	科目名	配当 年次	単位数
職業指導	全て必修	職業指導 1	3年～	2			
		職業指導 2	3年～	2			
商業 関連科目	選択	グローバル・サプライチェーン・マネジメント	2年～	4	流通論 I	3年～	2
		ビジネス・イングリッシュ I	2年～	2	流通論 II	3年～	2
		ビジネス・イングリッシュ II	2年～	2	生産システム論	3年～	2
		マーケティング入門	1年～	2	産業組織論	3年～	4
		リスクマネジメントと保険 I	3年～	2	管理会計	3年～	4
		リスクマネジメントと保険 II	3年～	2	簿記	1年～	4
		人的資源管理論 I	3年～	2	経営のための経済学	1年～	4
		人的資源管理論 II	3年～	2	経営学	2年～	4
		企業財務論	3年～	4	経営学入門	1年～	2
		会社法 1[会社のガバナンス]	1年～	2	経営科学 1	2年～	4
		会社法 2[会社のファイナンス]	1年～	2	経営科学 2	3年～	4
		会社法 3[組織再編・M&A]	3年～	2	経営管理論	3年～	4
		会計学	2年～	4	経営組織論	3年～	4
		会計学入門	1年～	2	証券論	2年～	4
		会計監査論	3年～	4	金融商品取引法 1[総論・流通市場規制等]	3年～	2
		原価計算	3年～	4	金融商品取引法 2[発行市場規制・業者規制等]	3年～	2
		国際貿易論 1	2年～	2	外部報告会計論	3年～	4
		国際貿易論 2	2年～	2	経営分析	2年～	2
組織イノベーション 1	2年～	2	ビジネスのためのデータサイエンス	2年～	4		
組織イノベーション 2	2年～	2					

教科に関する科目（高等学校 1 種・情報）【旧課程（2018 年度以前入学者）】

文科省 科目分類	履修 方法	科目名	配当 年次	単位数	科目名	配当 年次	単位数
情報社会 及び 情報倫理	必修	法情報学	3年～	2			
	選択	データ倫理	3年～	1			
コンピュータ 及び 情報処理 (実習を含む)	必修	社会科学のための基礎コンピュータ	1年～	4			
	選択	地理情報システム論 I	1年～	2	プログラミング入門 ※ ¹	1年～	1
		地理情報システム論 II	1年～	2	RIによる統計解析 ※ ¹	1年～	1
		金融データ解析 1	3年～	2	サーバサイドWebプログラミング初級 ※ ¹	1年～	2
		金融データ解析 2	3年～	2	クライアントサイドWebプログラミング初級 ※ ¹	1年～	2
		Webデザイン実践 ※ ¹	1年～	2			
情報科学の基礎 ※ ¹	1年～	2					
情報システム (実習を含む)	必修	情報システム	3年～	2			
	選択	情報科学論	1年～	4			
情報通信ネット ワーク (実習を含む)	全て必修	ネットワーク技術初級 ※ ¹	1年～	2	ネットワーク技術準中級 ※ ¹	1年～	2
	選択						
マルチメディア 表現及び技術 (実習を含む)	必修	マルチメディア	3年～	2			
	選択	メディア論 1	1年～	2	メディア論 3	1年～	2
		メディア論 2	1年～	2	メディア論 4	1年～	2
情報と職業	必修	情報化社会とワーキングスタイル	1年～	2			

※¹ グローバルエデュケーションセンター設置科目

※ 「情報科社会とワーキングスタイル」「社会科学のための基礎コンピュータ」「情報システム」「マルチメディア」は情報免許の必修科目となっていることから、「情報」免許を希望する4年生以上の学生を優先的に登録します（要申請）。希望する場合は、科目1次登録期間の前に、社会科学部事務所までご相談ください。

